



新☆びゃくか（白花）たより

4月度例会の様子

手打ちそばぐる〜ぶ

白花

第号：R 5. 4. 22

2023年度 総会・4月例会



雪解けが意外に早く、彼方に見える手稲山の残雪も殆んど無くなり、我が家の千島桜が季節の到来を告げ既に満開を迎えています。

一方、コロナ禍も収束に向かって落ち着くかに見えたのもつかの間、陽気に連れてまたぞろ感染者が少しずつ増え始め、第9派と呼ばれるまでに拡大するのか、結局、絶滅はしないようなので、ここ暫くはTPOでは無いですがマスクは手離せない様ですね。

今月の例会は年度初めなので、まず総会を開催しました。



殆んどの会員の出席を頂き、G10代表とタガ副代表から令和4年度の活動報告・反省・会計報告が有り、引き続き、令和5年度の活動計画・会計計画等が発表されました。会の運営に対して出席者から活発な意見も出て、まだまだ見直さなければならぬ部分を教えられました。

白花は他の団体と趣が少し違って、蕎麦打ち技術の向上を目指すのは勿論ですが、蕎麦打ちを通じて社会貢献を積極的に進めるのが目的です。

要望を頂いた各施設に出向いての蕎麦打ちボランティアで、人と人との心の繋がり・触れ合いを大切にして、少しでも社会に役立つ良識を持った白花で有りたいと考えます。



例会の方は何時もの様に、教える人・教えてもらう人が信頼関係のもとに、それぞれが目標を持って楽しく蕎麦打ちをしました。

それから、29日土曜日に全麺協初段位・二段位審査会石狩大会が実施され、白花のG10代表が審査員として出場され、コロナ禍で禁止されていた応援が解禁となったのでKAZIさん・つぶちゃん・うえNPさん達と行って来ました。

出場者全員が蕎麦打ちの上手なこと、制限時間内に余裕を持って終了する事にビックリ。

今は、指導者も大勢育って理に叶った的確な指導が行き渡って、当然の結果なのでしょうね。

頑張らねば！！！！



